
会
員
通
信

植防コメント

2020 年 11 月 30 日号－4

月刊誌「植物防疫」掲載内容

－「植物防疫」12月号掲載記事－

【巻頭言】

行って、見て、触れることの大切さ ～インドネシアを旅して～

舟久保太一

【総説】

オオムギ間作による害虫密度抑制効果と IPM への導入

関根崇行ら

キャベツおよびタマネギ生産圃場におけるオオムギ間作による害虫抑制効果と、微生物製剤との併用効果について紹介するとともに、これらの技術を導入した総合的病害虫管理系の構築の取り組みを紹介する。

【研究報告】

油脂を有効成分とする気門封鎖剤のトマト主要病害虫に対する防除効果

杖田浩二

油脂を有効成分とする気門封鎖剤による、トマト黄化葉巻病およびその媒介虫であるタバココナジラミ、トマト葉かび病、トマトすすかび病等、主要病害虫に対する防除効果について紹介する。

早期落葉の原因となるダイズ褐色輪紋病の発生生態と防除対策

角田佳則ら

山口県のダイズ栽培圃場で被害が顕在化しているダイズ褐色輪紋病について、病原菌同定のための病徴の再現試験を実施した。同定された *Corynespora cassiicola* のダイズにおける生態、現地圃場での発生調査、防除対策について紹介する。

グランドオンコル粒剤を組み込んだ新たなレンコンネモグリセンチュウの総合防除法

高木素紀ら

茨城県では、平成 29 年にレンコンネモグリセンチュウ防除のマニュアルを作成し、生産者に普及を図っている。その後の薬剤選抜研究から、ベンフラカルブ 8% 粒剤の効果が高いことが明らかになり、総合防除法の改良を行った。薬剤選抜、圃場での実証を踏まえ、レンコンネモグリセンチュウの総合防除法について紹介する。

【トピックス】

農業害虫ナミハダニにおける雄の繁殖戦略

佐藤幸恵

広く作物を加害し、薬剤抵抗性を発達させていることから重要な害虫となっているナミハダニであるが、雄の行動に関してはあまり注目されていない。そこで、雄の交尾行動、代替戦略（戦闘的/こそ泥的/日和見的）等について紹介する。

【新技術解説】

PMMoV *L4* 打破系統（病原型 P_{1,2,3,4}）のピーマンモザイク病に対する当面の防除対策について 松橋伊織ら

岩手県の施設栽培ピーマンでは、抵抗性品種（*L4* 品種）を侵害するピーマンモザイク病が発生し問題となっている。現地圃場での発生実態と一次伝染抑制のための対策、紙包み法による定植と二次伝染の防止を組み合わせた対策と抑制効果について紹介する。

【植物防疫講座】

病害編-36 芝草病害の発生生態と防除 矢口重治

芝草に発生する病害について、国内での芝草病害への研究の取り組みや、ゴルフ場等の病害鑑定依頼結果から、発生の傾向などを紹介する。

虫害編-30 アブラナ科野菜に発生するキスジノミハムシの発生生態と防除 新藤潤一

アブラナ科野菜に発生するキスジノミハムシについて、形態と生態、被害や防除対策について紹介する。

農薬編-33 複合体Ⅲユビキノール酸化酵素 Q_o 部位に作用する殺菌剤 田辺憲太郎

FRAC による作用機構 C に分類される複合体Ⅲユビキノール酸化酵素 Q_o 部位を阻害する殺菌剤でコード 11 について、開発経緯や作用機構、耐性菌の現状等について紹介する。

【研究室紹介】

山形県農業総合研究センター 食の安全環境部 柴田康志

栃木県農業試験場 研究開発部 病理昆虫研究室 福田 充



月刊誌「植物防疫」は、植物防疫に関する試験研究および行政の施策・指針などについて、専門家が幅広く解説、また、技術解説記事やトピックスなども豊富に掲載しています。

「植物防疫」 A4判 約70～80頁 フルカラー
2020年 第74巻 1月～12月号

お問合せ：一般社団法人日本植物防疫協会 支援事業部

ホームページ：<http://www.jppa.or.jp>

E-mail：order@jppa.or.jp

（第74巻12月号の表紙）